

記者提供資料
2026年(令和8年)6月19日
福祉政策室共生社会推進課 (担当:戸田・門園・畑本)
Tel:078-918-5289 (内線:3170・3173)

“社会を明るくする運動” 内閣総理大臣メッセージ 伝達式を開催

2026年6月23日(火)に明石市保護司会より明石市長へ“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージの伝達を行います。

社会を明るくする運動とは

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。法務省が主唱し、今年で76回目を迎えます。

内閣総理大臣メッセージ 伝達式とは

7月の強調月間に先立ち、保護司などの関係者が内閣総理大臣や都道府県知事、市区町村長などを表敬訪問し、運動への協力を呼びかけるメッセージを手渡す式典です。

伝達式について

(1) 日時・場所

日時：2026年6月23日(火) 午前10時から午前10時30分
場所：明石市役所 303 応接室

(2) 当日の流れ(予定)

時間	内容	明石市保護司会
10:00	出席者紹介	(司会進行)副会長 春本 光行 氏
	明石市長へメッセージ伝達	明石市保護司会 会長 伊原 昇 氏 (メッセージ読上げ)副会長 藤原 京子 氏
	懇談	明石市長と明石市保護司会の皆さん
	記念撮影	
10:30	終了	



“社会を明るくする運動”明石地区推進委員会 事務局
(明石市共生社会推進課)



50代
パートタイム
販売員



40代
保険販売代理店
会社役員

保護司になるなんて、



30代
郵便局職員

過ちからの立ち直りを支援する、
更生保護のボランティア。

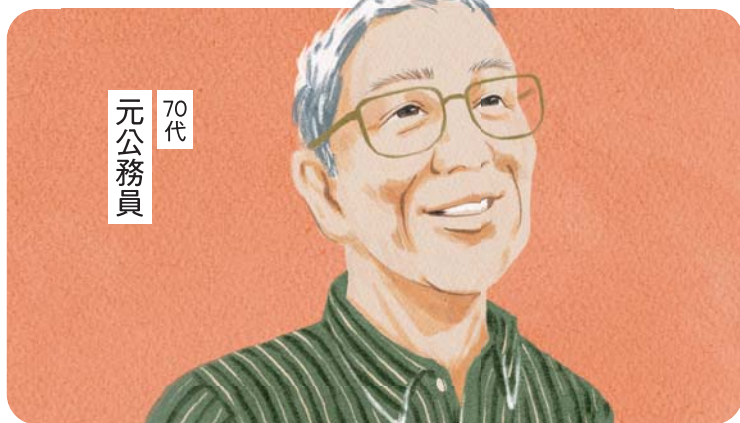
さまざまな年齢や経歴の人が、
対話を通じて一人一人に寄りそう
「保護司」として活躍しています。

話を聴くのが好き。
地域の役に立ちたい。
そんな気持ちを持つあなたも、
次の保護司かもしれません。



30代
IT企業
営業

思ってもみなかった。



70代
元公務員



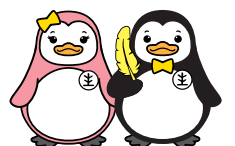
20代
公益法人職員
(社会福祉士)

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第76回 社会を明るくする運動

主唱 /
法務省
MINISTRY OF JUSTICE

更生ペンギンの
サラちゃん 更生ペンギンの
ホゴちゃん



“社会を明るくする運動”とは

すべての国民が、犯罪や非行の防止と
犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、
それぞれの立場において力を合わせ、
新たな被害者も加害者も生まない
安全で安心な明るい地域社会を
築くための全国的な活動です。



更生ペンギンのサラちゃん
更生ペンギンのホゴちゃん

第76回“社会を明るくする運動”の統一テーマ

「保護司」をはじめとする

更生保護ボランティアを広く知ってもらおう

ウェブサイトや各種SNSで情報を発信しています。

ウェブサイトで知る

社会を
明るくする運動
ウェブサイト



法務省保護局
ホームページ



SNSで知る

法務省保護局
公式X
アカウント



法務省保護局
公式Instagram
アカウント



法務省
公式YouTube
チャンネル



保護司になるなんて、 思ってもみなかった。



犯罪や過ちから立ち直ろうとする人に寄り添い、
地域で支え続けている
「保護司」というボランティアがあります。
大変そう、むずかしそう。そんなイメージを
持たれがちですが、実はさまざまな年齢や経歴の人が、
全国で保護司として活動しています。
第76回「社会を明るくする運動」では、
保護司をはじめとする
更生保護ボランティアの存在を知っていただき、
皆さんとともに安全で安心な社会について
考えていきます。
まずは、更生保護ボランティアのことを
知るところから。そして、あなたにもできること、
あなただからこそできる支援へ、
一歩踏み出してみませんか。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第76回 社会を明るくする運動

主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE

身近なところに立ち直りを支援する方法があります

更生保護ボランティアについてより詳しく知りたい方は、裏面に掲載のウェブサイトを御覧ください。

更生保護ボランティアを知る・参加する



立ち直りを一番近くで見守る
● 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアであり、非常勤の国家公務員です。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。全国に約4万5000人います。

「就労」と「見守り」の両方を担う

● 協力雇用主

犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万5000事業者がいます。



地域のことを
ほっとけない

● 更生保護女性会

犯罪予防活動を行うとともに、青少年の健全育成活動のほか、子育て支援活動、更生保護施設への支援など、幅広い活動を行うボランティア団体です。全国に約11万人います。



若い人の視点で
立ち直り支援に参加

● BBS会

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。全国に約4600人います。

社会復帰する人の
居場所をつくる

● 更生保護施設・自立準備ホーム

刑務所などを出た後、住む場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた支援等を行う民間の施設です。更生保護施設は約100施設あります。また、自立準備ホームは約560事業者が登録しています。

立ち直りへの理解を深め見守る

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人々たちへの御理解や

更生保護ボランティアの方々の活動への御協力を、よろしくお願ひします。

活動を応援する

立ち直り応援基金は、犯罪や非行をした人の立ち直りに賛同してくださる方々の思いと、更生保護の活動とを結び、新たな被害者も加害者も生まない、安全・安心な地域社会を築くことを目的とした基金です。寄付金は、全国の立ち直り支援活動に大切に使われます。

立ち直れる。その思いをツナグ。

立ち直り応援基金



SNSを フォロワー・拡散

法務省保護局のホームページやSNS等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。裏面に公式SNSを御紹介しておりますので、ぜひチェックしてみてください。

イベントに 参加する

7月の強調月間を中心に、全国各地で「社会を明るくする運動」の様々なイベントや広報活動が行われています。お住まいの地域の活動に、ぜひ御参加ください。

立ち直り支援に、特別な資格や経験は必要ありません。地域で見守る、理解を深める、応援するなど、支援のかたちは様々です。できることから、あなたらしく始めてみませんか。